



2023年度 決算補足説明資料

2024年4月30日

南海電気鉄道株式会社（東証プライム市場 9044 <https://www.nankai.co.jp/>）

目次

I. 2023年度 決算概要	P. 2
1. 業績ハイライト	P. 3
2. セグメント別の状況	P. 5
3. 営業外・特別損益の状況	P. 18
4. 資産、負債及び純資産の状況	P. 19
5. キャッシュ・フローの状況	P. 20
6. 投資額・EBITDA(セグメント別)	P. 21
II. 2024年度 業績予想	P. 22
1. 業績ハイライト	P. 23
2. セグメント別の状況	P. 24

1. 2023年度 決算概要



1. 業績ハイライト①

(単位:百万円)

	2023年度 実績 (A)	2022年度 実績 (B)	対2022年度実績		2023年度 予想 (2023年10月公表) (C)	対2023年度予想	
			増減額 (A-B)	増減率		増減額 (A-C)	増減率
営業収益	241,594	221,280	20,314	9.2%	248,000	△ 6,405	△ 2.6%
営業利益	30,820	21,023	9,797	46.6%	27,200	3,620	13.3%
営業外収益	2,461	2,264	197	8.7%			
営業外費用	3,970	4,322	△ 352	△ 8.2%			
経常利益	29,312	18,965	10,347	54.6%	25,400	3,912	15.4%
特別利益	8,236	3,009	5,226	173.7%			
特別損失	3,755	2,600	1,154	44.4%			
親会社株主に帰属する 当期純利益	23,926	14,623	9,303	63.6%	21,800	2,126	9.8%

<主な増減理由:対2022年度実績>

運輸業における輸送人員の増加や、不動産業における物件販売収入の増加等により増収増益

<主な増減理由:対2023年10月公表予想>

貨物運送業における取扱高の減少等により減収となった一方、鉄道事業及びバス事業における輸送人員の増加や、費用の減少等により増益

‘なんかいいね’があふれてる

1. 業績ハイライト②

(単位:百万円)

	2023年度 実績 (A)	2022年度 実績 (B)	対2022年度実績		2023年度 予想 (2023年10月公表) (C)	対2023年度予想	
			増減額 (A-B)	増減率		増減額 (A-C)	増減率
投資額	25,787	27,872	△ 2,085	△ 7.5%	48,100	△ 22,312	△ 46.4%
減価償却費	27,477	27,619	△ 141	△ 0.5%	27,600	△ 122	△ 0.4%
E B I T D A ※	59,490	49,645	9,845	19.8%	56,000	3,490	6.2%
有利子負債残高	430,979	474,514	△ 43,535	△ 9.2%	438,600	△ 7,620	△ 1.7%
純有利子負債残高	387,693	436,105	△ 48,412	△ 11.1%	416,100	△ 28,406	△ 6.8%
有利子負債残高 / E B I T D A ※ 倍率	7.2倍	9.6倍	△ 2.4pt	—	7.8倍	△ 0.6pt	—
純有利子負債残高 / E B I T D A ※ 倍率	6.5倍	8.8倍	△ 2.3pt	—	7.4倍	△ 0.9pt	—

<主な増減理由:対2022年度実績>

投資額

前期の大阪府食品流通センターE棟竣工等による減少

純有利子負債残高

増益や物件売却に伴うキャッシュ・フロー改善による減少

<主な増減理由:対2023年10月公表予想>

投資額

投資の期ズレ等による減少

純有利子負債残高

投資の期ズレや増益等による減少

※ 営業利益+受取配当金+減価償却費

2. セグメントの構成状況（2024年3月末現在）

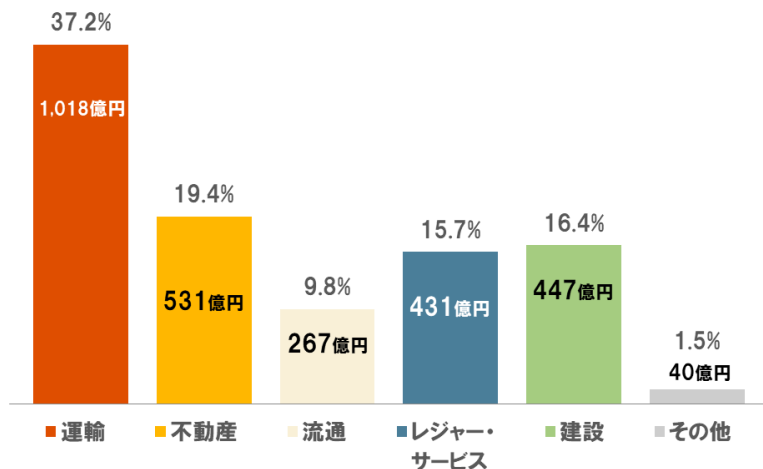
【連結子会社52社・非連結子会社17社・持分法非適用関連会社6社】

増減（対2023年3月末） 連結子会社の減少 2社：（グループ内合併）株式会社大阪府食品流通センター、徳島バス阿南株式会社

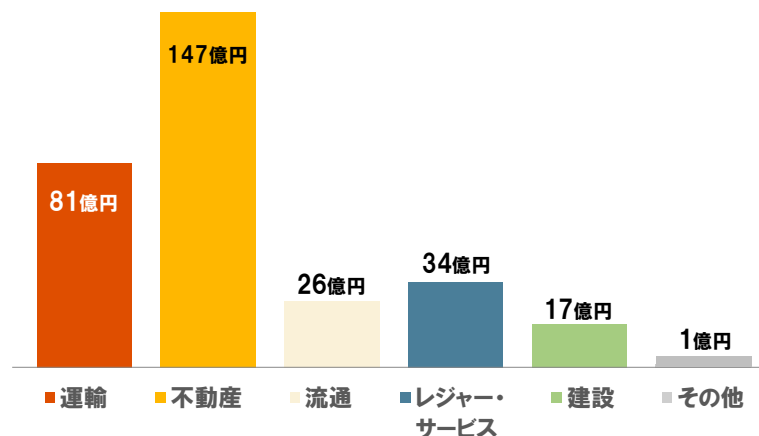


※ 当社は運輸業、不動産業、流通業、レジャー・サービス業に、泉北高速鉄道株式会社は運輸業と不動産業に重複して含まれております。

【セグメント別営業収益】



【セグメント別営業利益】

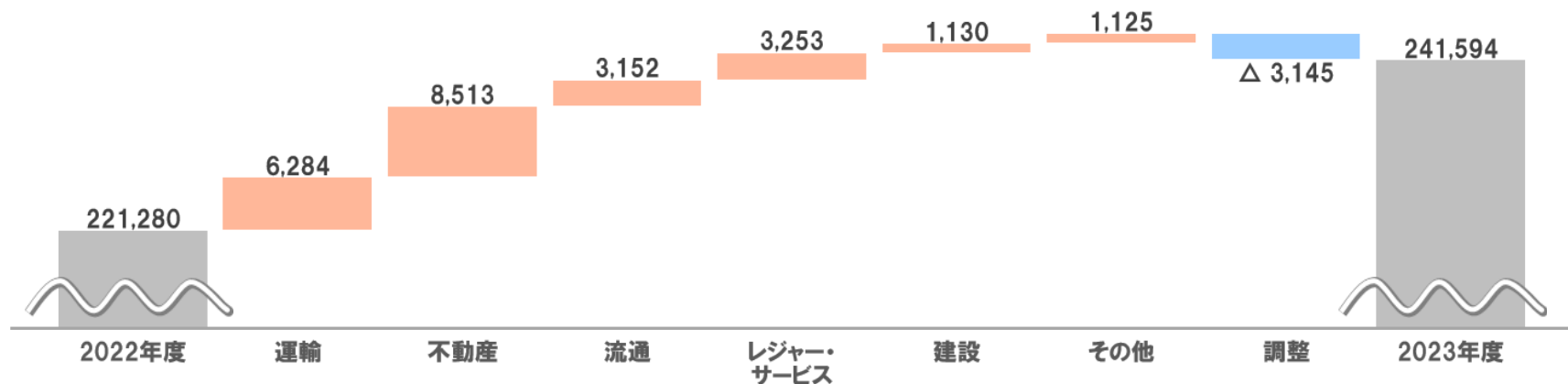


※ 構成比:セグメント間取引を含む営業収益に対する比率

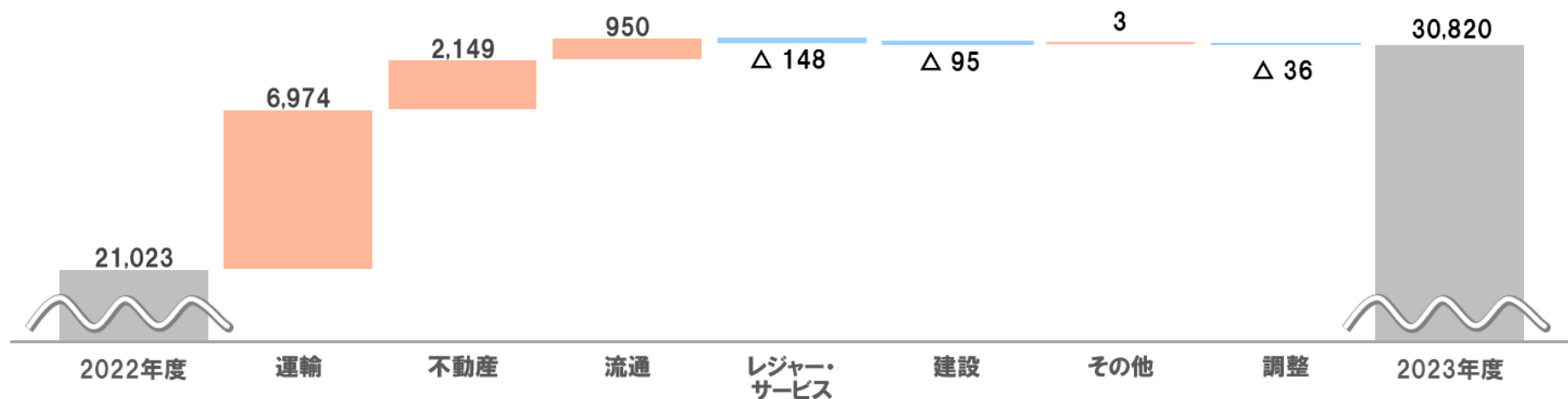
2. セグメント別営業収益・営業利益（対2022年度実績）

① 営業収益の増減額（対2022年度実績）

（単位：百万円）



② 営業利益の増減額（対2022年度実績）



2. セグメント別営業収益・営業利益（対2022年度実績）

（単位：百万円）

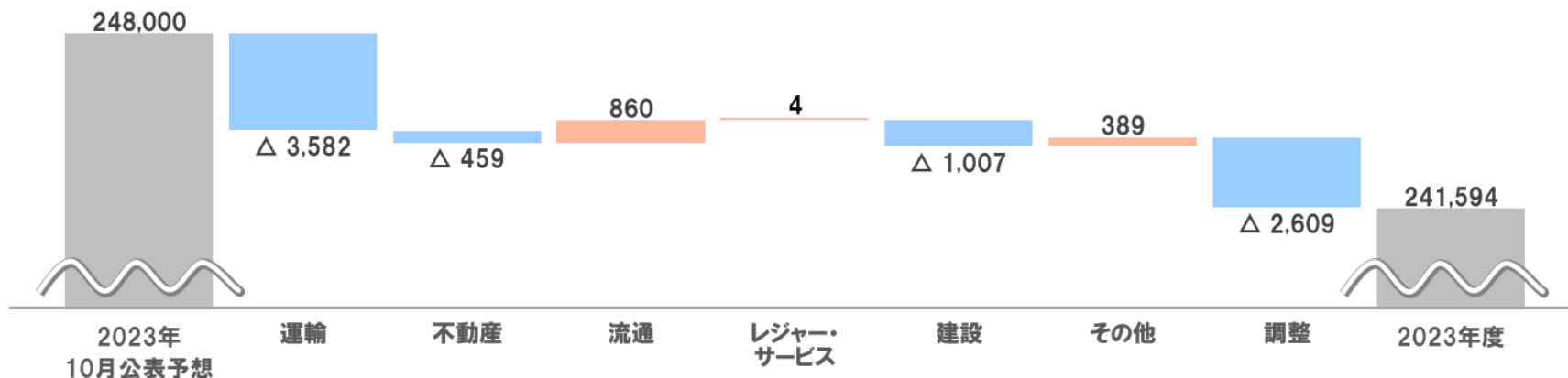
	営業収益				営業利益			
	2023年度 実績	2022年度 実績	増減額	増減率	2023年度 実績	2022年度 実績	増減額	増減率
運 輸 業	101,817	95,532	6,284	6.6%	8,126	1,152	6,974	605.3%
不 動 産 業	53,140	44,627	8,513	19.1%	14,720	12,570	2,149	17.1%
流 通 業	26,760	23,607	3,152	13.4%	2,661	1,710	950	55.6%
レジャー・ サービス業	43,104	39,851	3,253	8.2%	3,402	3,550	△ 148	△ 4.2%
建 設 業	44,792	43,662	1,130	2.6%	1,794	1,889	△ 95	△ 5.0%
その他の事業	4,089	2,963	1,125	38.0%	179	175	3	2.0%
調 整 額	△ 32,109	△ 28,964	—	—	△ 62	△ 25	—	—
合 計	241,594	221,280	20,314	9.2%	30,820	21,023	9,797	46.6%

‘なんかいいね’があふれてる

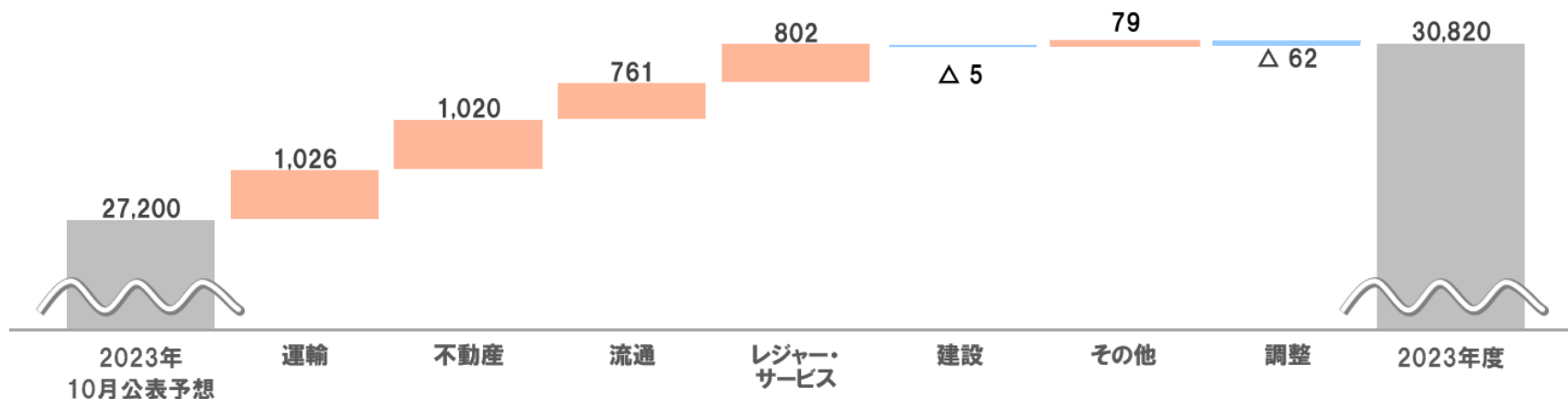
2. セグメント別営業収益・営業利益（対2023年10月公表予想）

① 営業収益の増減額（対2023年10月公表予想）

（単位：百万円）



② 営業利益の増減額（対2023年10月公表予想）



2. セグメント別営業収益・営業利益（対2023年10月公表予想）

（単位：百万円）

	営業収益				営業利益			
	2023年度 実績	2023年度 予想 (2023年10月公表)	増減額	増減率	2023年度 実績	2023年度 予想 (2023年10月公表)	増減額	増減率
運 輸 業	101,817	105,400	△ 3,582	△ 3.4%	8,126	7,100	1,026	14.5%
不 動 産 業	53,140	53,600	△ 459	△ 0.9%	14,720	13,700	1,020	7.4%
流 通 業	26,760	25,900	860	3.3%	2,661	1,900	761	40.1%
レジャー・ サービス業	43,104	43,100	4	0.0%	3,402	2,600	802	30.8%
建 設 業	44,792	45,800	△ 1,007	△ 2.2%	1,794	1,800	△ 5	△ 0.3%
その他の事業	4,089	3,700	389	10.5%	179	100	79	79.3%
調 整 額	△ 32,109	△ 29,500	—	—	△ 62	△ 0	—	—
合 計	241,594	248,000	△ 6,405	△ 2.6%	30,820	27,200	3,620	13.3%

‘なんかいいね’があふれてる

2. セグメント情報(運輸業)

(単位:百万円)

運輸業	2023年度 実績	2022年度 実績	増減額	増減率
営業収益	101,817	95,532	6,284	6.6%
鉄道事業	65,640	56,393	9,246	16.4%
バス事業	23,844	20,262	3,582	17.7%
その他の運輸業	19,546	25,757	△ 6,210	△ 24.1%
調整額(セグメント内)	△ 7,215	△ 6,881	—	—
営業利益	8,126	1,152	6,974	605.3%
主な内訳				
鉄道事業	6,530	1,034	5,495	531.1%
バス事業	2,015	172	1,842	—

<主な増減理由>

・貨物運送業における減収があったものの、鉄道事業やバス事業において前期と比べ輸送人員が増加したこと等により増収増益

2. 鉄道旅客収入及び輸送人員表(個別)

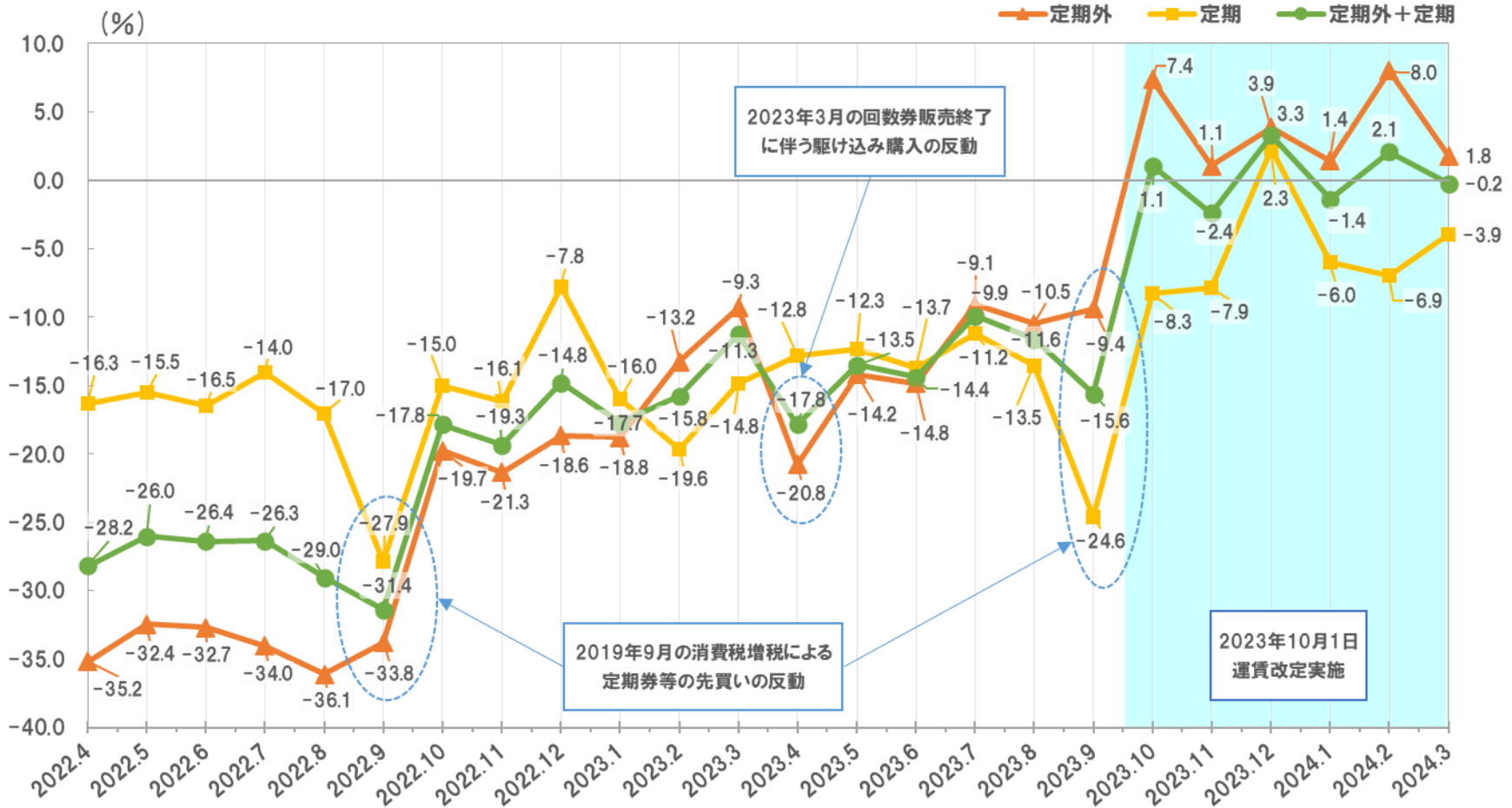
(単位:百万円・千人)

全線			2023年度 実績	2022年度 実績	増減	増減率
旅客収入	定期外		35,140	27,486	7,654	27.8%
	定期		20,415	18,971	1,443	7.6%
	合	計	55,556	46,457	9,098	19.6%
輸送人員	定期外		91,160	82,077	9,083	11.1%
	定期		126,174	121,694	4,480	3.7%
	合	計	217,334	203,771	13,563	6.7%

空港線			2023年度 実績	2022年度 実績	増減	増減率
旅客収入	定期外		9,696	4,953	4,742	95.7%
	定期		1,285	889	395	44.4%
	合	計	10,982	5,843	5,138	87.9%
輸送人員	定期外		11,555	6,494	5,061	77.9%
	定期		4,170	3,020	1,150	38.1%
	合	計	15,725	9,514	6,211	65.3%

2. セグメント情報(運輸業)

【参考1】(個別-全線)鉄道旅客収入 2019年同月比増減率の推移

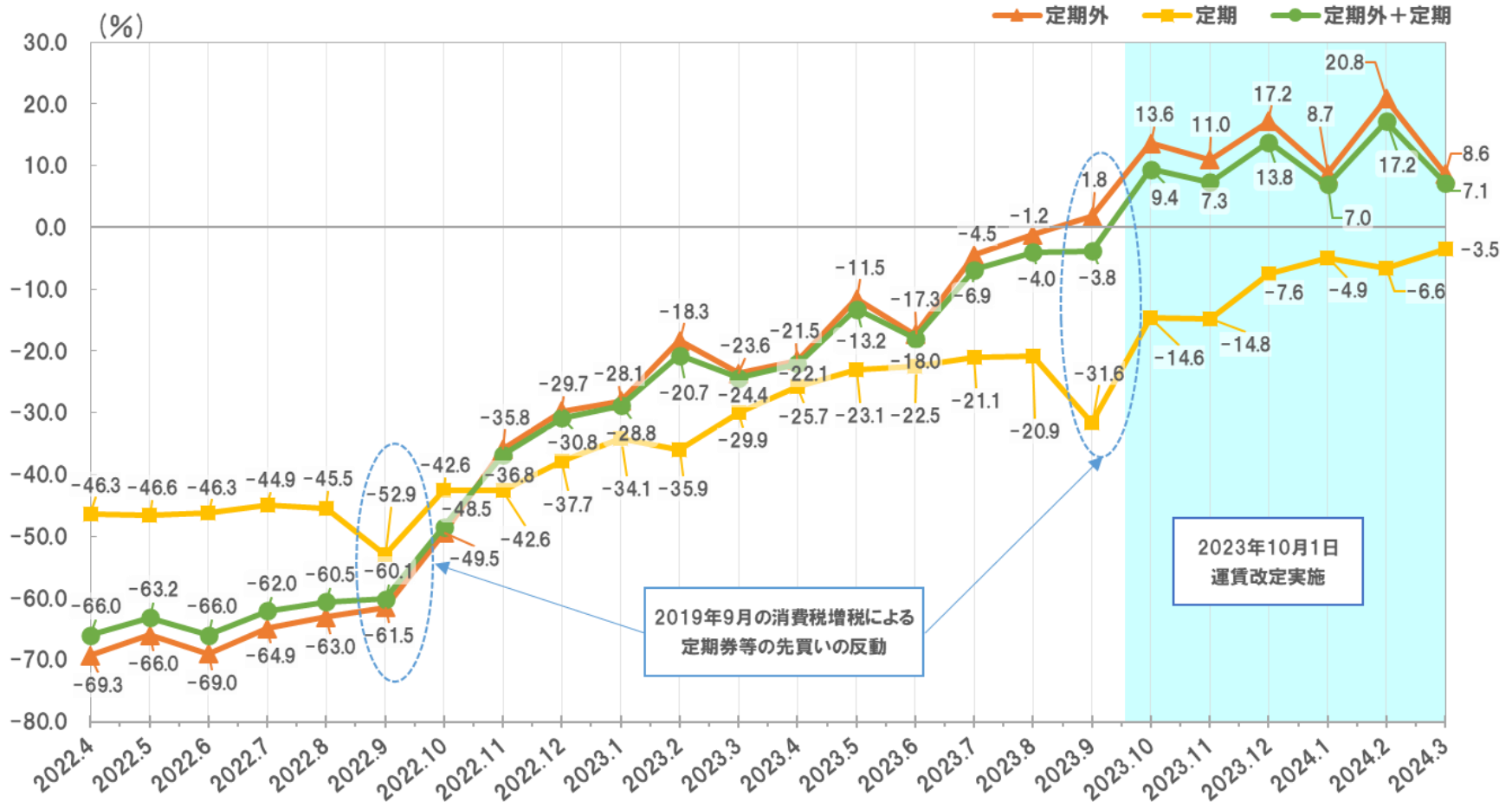


※ 2021年4月以降は「収益認識に関する会計基準」等を適用しておりますが、影響額を調整せず単純比較で増減率を算出しております。

‘なんかいいね’があふれてる

2. セグメント情報(運輸業)

【参考2】(個別-空港線)鉄道旅客収入 2019年同月比増減率の推移



※ 2021年4月以降は「収益認識に関する会計基準」等を適用しておりますが、影響額を調整せず単純比較で増減率を算出しております。

2. セグメント情報(不動産業)

(単位:百万円)

不動産業	2023年度 実績	2022年度 実績	増減額	増減率
営業収益	53,140	44,627	8,513	19.1%
不動産賃貸業	34,710	33,968	741	2.2%
不動産販売業	18,923	10,943	7,979	72.9%
調整額(セグメント内)	△ 492	△ 284	—	—
営業利益	14,720	12,570	2,149	17.1%
主な内訳				
不動産賃貸業	11,600	12,049	△ 449	△ 3.7%
不動産販売業	3,285	699	2,585	369.6%

<主な増減理由>

- ・不動産賃貸業は、入国制限の解除に伴うホテル賃貸料収入の増加等により増収、経費の増加等により減益
- ・不動産販売業は、リート投資法人への物件販売等により増収増益

2. セグメント情報(流通業)

(単位:百万円)

流通業	2023年度 実績	2022年度 実績	増減額	増減率
営業収益	26,760	23,607	3,152	13.4%
ショッピングセンターの経営	14,649	13,981	668	4.8%
駅ビジネス事業	13,681	11,002	2,678	24.3%
その他の流通業	217	386	△ 169	△ 43.8%
調整額(セグメント内)	△ 1,788	△ 1,763	—	—
営業利益	2,661	1,710	950	55.6%
主な内訳				
ショッピングセンターの経営	1,214	1,009	204	20.2%
駅ビジネス事業	1,501	833	668	80.2%

<主な増減理由>

- ・ショッピングセンターの経営は、賃貸料収入が増加したこと等により増収増益
- ・駅ビジネス事業は、ブランド転換を実施したコンビニエンスストアの売上が好調に推移し増収増益

‘なんかいいね’があふれてる

2. セグメント情報(レジャー・サービス業)

(単位:百万円)

レジャー・サービス業	2023年度 実績	2022年度 実績	増減額	増減率	
営業収益	43,104	39,851	3,253	8.2%	
ビル管理メンテナンス業	25,776	23,684	2,092	8.8%	
その他のレジャー・サービス業	19,439	18,266	1,172	6.4%	
調整額(セグメント内)	△ 2,111	△ 2,099	—	—	
営業利益	3,402	3,550	△ 148	△ 4.2%	
主な 内訳	ビル管理メンテナンス業	1,159	1,020	139	13.6%

<主な増減理由>

- ・ビル管理メンテナンス業は、ビルメンテナンス収入の増加等により増収増益
- ・その他のレジャー・サービス業は、旅行需要の回復等により増収となった一方、売上原価の増加等により減益

2. セグメント情報(建設業 / その他の事業)

(単位:百万円)

建設業	2023年度 実績	2022年度 実績	増減額	増減率
営業収益	44,792	43,662	1,130	2.6%
建設業	44,808	43,689	1,118	2.6%
調整額(セグメント内)	△ 15	△ 26	—	—
営業利益	1,794	1,889	△ 95	△ 5.0%

<主な増減理由> 保有物件の販売等により増収、利益率の低下等により減益

(単位:百万円)

その他の事業	2023年度 実績	2022年度 実績	増減額	増減率
営業収益	4,089	2,963	1,125	38.0%
その他の事業	4,130	2,998	1,132	37.8%
調整額(セグメント内)	△ 41	△ 34	—	—
営業利益	179	175	3	2.0%

<主な増減理由> システム収入の増加等により増収増益

‘なんかいいね’があふれてる

3. 営業外・特別損益の状況

(単位:百万円)

	2023年度 実績	2022年度 実績	増減額	摘要
営業外収益	2,461	2,264	197	
受取利息	26	25	1	
受取配当金	1,192	1,003	189	
雑収入	1,242	1,235	6	
営業外費用	3,970	4,322	△ 352	
支払利息	3,300	3,494	△ 193	
雑支出	669	827	△ 158	
特別利益	8,236	3,009	5,226	
固定資産売却益	7,274	548	6,725	当期:リート投資法人への物件売却 他
工事負担金等受入額	800	619	180	
収用補償金	—	805	△ 805	
協力金収入	—	545	△ 545	
その他	162	491	△ 329	
特別損失	3,755	2,600	1,154	
圧縮未決算特別勘定繰入額	1,813	—	1,813	
工事負担金等圧縮額	779	578	201	
固定資産除却損	347	994	△ 647	
減損損失	253	366	△ 113	
その他	561	661	△ 99	

‘なんかいいね’があふれてる

4. 資産、負債及び純資産の状況

(単位:百万円)

	2023年度末	2022年度末	増減額	主な増減理由												
流動資産	105,354	103,616	1,738	<ul style="list-style-type: none"> ●流動資産 ・現金及び預金の増加 +48億円 ・商品及び製品の減少 △19億円 ・受取手形、売掛金及び契約資産の減少 △8億円 												
固定資産	845,296	831,497	13,798	<ul style="list-style-type: none"> ●固定資産 ・投資有価証券の増加 +159億円 ・建設仮勘定の増加 +61億円 ・建物及び構築物の減少 △104億円 												
資産合計	950,650	935,113	15,537	<ul style="list-style-type: none"> ●負債 												
負債合計	643,548	660,526	△ 16,978	<p>【有利子負債残高】 (単位:億円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2023年度末</th> <th>2022年度末</th> <th>増減額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有利子負債</td> <td>4,309</td> <td>4,745</td> <td>△ 435</td> </tr> <tr> <td>純有利子負債</td> <td>3,876</td> <td>4,361</td> <td>△ 484</td> </tr> </tbody> </table>		2023年度末	2022年度末	増減額	有利子負債	4,309	4,745	△ 435	純有利子負債	3,876	4,361	△ 484
	2023年度末	2022年度末	増減額													
有利子負債	4,309	4,745	△ 435													
純有利子負債	3,876	4,361	△ 484													
純資産	307,102	274,586	32,515	<ul style="list-style-type: none"> ・前受金の増加 +75億円 ・未払法人税等の増加 +59億円 ・繰延税金負債の増加 +50億円 												
負債純資産合計	950,650	935,113	15,537	<ul style="list-style-type: none"> ●純資産 ・親会社株主に帰属する当期純利益 +239億円 ・その他有価証券評価差額金の増加 +92億円 ・剰余金の配当 △28億円 												

5. キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

	2023年度 実績	2022年度 実績	増減額	主な増減理由
営業活動による キャッシュ・フロー	62,223	39,086	23,137	<ul style="list-style-type: none"> ●営業活動によるキャッシュ・フロー ・税金等調整前当期純利益 +144億円 ・棚卸資産の増減 +75億円 ・売上債権の増減 +26億円
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 10,528	△ 26,305	15,776	<ul style="list-style-type: none"> ●投資活動によるキャッシュ・フロー ・固定資産の売却による収入 +137億円 ・固定資産の取得による支出 +25億円 ・投資有価証券の取得による支出 △23億円
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 46,832	△ 11,341	△ 35,491	<ul style="list-style-type: none"> ●財務活動によるキャッシュ・フロー ・有利子負債増減額 △355億円 ○当期 借入金 △335億円 社債 △100億円 ○前期 借入金 △179億円 社債 +99億円
現金及び現金 同等物の期末残高	42,402	37,540	4,862	

6. 投資額・EBITDA(セグメント別)

(単位:百万円)

	投資額			EBITDA ※1		
	2023年度実績	2022年度実績	増減額	2023年度実績	2022年度実績	増減額
運 輸 業	16,370	13,781	2,589	23,549	16,469	7,080
不 動 産 業	3,480	11,006	△ 7,525	22,449	20,433	2,016
流 通 業	3,953	1,711	2,242	6,598	5,650	947
レジャー・サービス業	1,903	1,300	603	4,668	4,839	△ 171
建 設 業	35	69	△ 33	1,861	2,013	△ 151
その他の事業	42	3	38	189	187	2
調 整 額	—	—	—	※2 173	※2 51	122
合 計	25,787	27,872	△ 2,085	59,490	49,645	9,845

※1 営業利益+受取配当金+減価償却費

※2 EBITDAの調整額はセグメント間取引消去と受取配当金の合計額であります。

II. 2024年度 業績予想

1. 業績ハイライト

(単位:百万円)

	2024年度 予想	2023年度 実績	増減額	主な増減要因
営業収益	259,100	241,594	17,505	<ul style="list-style-type: none"> ●営業収益 不動産業の物件販売収入が減少するものの、運輸業で旅客需要の回復や運賃改定効果が寄与するほか、建設業の完成工事高増加により増収 ●営業利益 運輸業を中心とした収支改善により増益 ●親会社株主に帰属する当期純利益 前期の固定資産売却益の反動により減益 ●投資額 収益拡大投資の増加 ●有利子負債残高 投資額の増加による増加
営業利益	31,000	30,820	179	
経常利益	28,700	29,312	△ 612	
親会社株主に帰属する 当期純利益	17,900	23,926	△ 6,026	
投資額	77,300	25,787	51,512	
減価償却費	28,600	27,477	1,122	
E B I T D A ※	60,800	59,490	1,309	
有利子負債残高	442,800	430,979	11,820	
純有利子負債残高	419,700	387,693	32,006	
有利子負債残高 / E B I T D A ※ 倍率	7.3倍	7.2倍	0.1pt	
純有利子負債残高 / E B I T D A ※ 倍率	6.9倍	6.5倍	0.4pt	

‘なんかいいね’があふれてる

※ 営業利益+受取配当金+減価償却費

2. セグメント別営業収益・営業利益

(単位:百万円)

		2024年度 予想	2023年度 実績	増減額	主な増減要因
運 輸 業	営業収益	111,600	101,817	9,782	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道事業 +68億円(当社 運賃改定効果+32億円) ・空港線収入 +27億円 ・バス事業 +2億円 ・貨物運送業 +18億円
	営業利益	11,400	8,126	3,273	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道事業 +28億円 ・バス事業 +1億円 ・貨物運送業 +4億円
不 動 産 業	営業収益	49,000	53,140	△ 4,140	<ul style="list-style-type: none"> ・不動産賃貸業 △4億円 ・不動産販売業 △41億円
	営業利益	11,800	14,720	△ 2,920	<ul style="list-style-type: none"> ・不動産賃貸業 △4億円 ・不動産販売業 △25億円
流 通 業	営業収益	27,500	26,760	739	<ul style="list-style-type: none"> ・ショッピングセンターの経営 +2億円 ・駅ビジネス +5億円
	営業利益	2,700	2,661	38	<ul style="list-style-type: none"> ・ショッピングセンターの経営 △1億円 ・駅ビジネス +1億円

‘なんかいいね’があふれてる

2. セグメント別営業収益・営業利益

(単位:百万円)

		2024年度 予想	2023年度 実績	増減額	主な増減要因
レジャー・ サービス業	営業収益	43,800	43,104	695	・ビル管理メンテナンス業 +10億円 ・その他 △5億円(ポートルース施設賃貸業他)
	営業利益	3,200	3,402	△ 202	・ビル管理メンテナンス業 +1億円 ・その他 △3億円(ポートルース施設賃貸業他)
建設業	営業収益	52,200	44,792	7,407	完成工事高の増
	営業利益	2,100	1,794	305	増収による増益
その他の 業	営業収益	2,600	4,089	△ 1,489	
	営業利益	100	179	△ 79	
調整額	営業収益	△ 27,600	△ 32,109	—	
	営業利益	△ 300	△ 62	—	
合計	営業収益	259,100	241,594	17,505	
	営業利益	31,000	30,820	179	

‘なんかいいね’があふれてる

2. セグメント別投資額・EBITDA

(単位:百万円)

	投資額				EBITDA ※1		
	2024年度 予想	2023年度 実績	増減額	予想額 主な内訳	2024年度 予想	2023年度 実績	増減額
運 輸 業	29,500	16,370	13,129	<収益拡大投資 399億円> ・収益用不動産取得 143億円 ・北大阪トラックターミナルII期棟 135億円 <安全・更新投資 319億円> ・鉄道関連工事 170億円 車両新造、高架橋補強等 ・不動産及び流通施設工事 48億円 <未来探索投資 70億円> ・ツーリズム関連投資 18億円	27,900	23,549	4,350
不 動 産 業	40,300	3,480	36,819		19,400	22,449	△ 3,049
流 通 業	2,600	3,953	△ 1,353		6,800	6,598	201
レジャー・ サービス業	6,300	1,903	4,396		4,500	4,668	△ 168
建 設 業	200	35	164		2,200	1,861	338
その他の事業	0	42	△ 42		100	189	△ 89
調 整 額	△ 1,600	—	—		※2 △ 100	※2 173	—
合 計	77,300	25,787	51,512	60,800	59,490	1,309	

※1 営業利益+受取配当金+減価償却費

※2 EBITDAの調整額はセグメント間取引消去と受取配当金の合計額であります。

2. 運輸業 鉄道旅客収入と輸送人員表(個別)

【当社鉄道線 業績予想の前提条件】

インバウンド需要の増加や国内の移動需要について回復を見込むことに加え、
2023年10月に実施した運賃改定の通期寄与もあり定期外、定期ともに増収を見込む。

(単位:百万円・千人)

全線			2024年度 予想	対前期 増減率	2023年度 実績	対前期 増減率	2022年度 実績	対前期 増減率
旅客 収入	定期外		39,562	12.6%	35,140	27.8%	27,486	33.8%
	定期		22,383	9.6%	20,415	7.6%	18,971	2.6%
	合計		61,946	11.5%	55,556	19.6%	46,457	19.0%
輸送 人員	定期外		96,345	5.7%	91,160	11.1%	82,077	24.4%
	定期		126,896	0.6%	126,174	3.7%	121,694	4.1%
	合計		223,241	2.7%	217,334	6.7%	203,771	11.4%

空港線			2024年度 予想	対前期 増減率	2023年度 実績	対前期 増減率	2022年度 実績	対前期 増減率
旅客 収入	定期外		12,148	25.3%	9,696	95.7%	4,953	124.8%
	定期		1,526	18.8%	1,285	44.4%	889	14.0%
	合計		13,674	24.5%	10,982	87.9%	5,843	95.8%
輸送 人員	定期外		14,114	22.1%	11,555	77.9%	6,494	103.3%
	定期		4,620	10.8%	4,170	38.1%	3,020	14.8%
	合計		18,734	19.1%	15,725	65.3%	9,514	63.3%

‘なんかいいね’があふれてる

【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因によって異なる可能性があります。

南海電気鉄道株式会社